

# 千葉県社保協通信

2019年度一 No14 2020年 2月 28日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉サカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール [syaho2006@star.ocn.ne.jp](mailto:syaho2006@star.ocn.ne.jp)

## 地域医療守ろう！ = 公立・公的病院「再検証」要請の撤回求め国会行動 =



中央社保協など6団体がよびかけて26日、参議院会館で行った「公立公的病院統合再編阻止共同行動」には130人を超える参加がありました。千葉県社保協から4人が参加。午前の集会では中央社保協山口事務局長が自治体や病院との懇談、地域医療の充実を求める行動を提起。



各地からの発言では、寺尾さとし前県議（写真左）（千葉市立病院の存続を求める会）が報告。「台風被害の病院から透析患者を受け入れた病院が対象になっているなど病院関係者からも納得できない声が上がっている」「地域

医療と公立病院を守る県民連絡会」とともに取組みを強めたいと話しました。

共産、立民、国民、無所属の国会議員や秘書が駆けつけ、連帯あいさつ。高橋千鶴子衆院議員は「病床削減のために来年度84億円を計上し、足りなければ消費税財源を活用しようという。消費税で病院つぶしを進めるなどとんでもない」と告発。

午後の厚労省への要請行動では、35,275筆の署名を提出し、「再検証」要請の撤回を求めました。

藤田まつ子県社保協事務局長は、名指された国保多古中央病院を紹介。「台風被災時には消防団と病院が協力して高齢者の安否確認を行った」「町として子ども医療費、給食費、保育所待機児の3つのゼロを推進し、病児保育所を院内に開設するなど地域になくはない病院。なぜこんな病院の名前が上がるのか」と訴えました。厚労省の担当者は「医療ニーズの変化や医療サービスの担い手減少という課題に直面しており、地域医療構想の実現に力を尽くすことが必要。リストはあくまで議論の材料、機械的に統合を求めるものではない」とリストの撤回を拒否しました。効率性・生産性では医療は語れませんが、災害、感染症対策、地域包括ケアのためにも地域医療の拡充はいよいよ重要な課題です。

### アベ政治に終止符を！！

### 県社保協・消費税廃止県連絡会 & 県憲法共同センター合同宣伝

### 改憲NO！ 憲法いかせ 税金の集め方・使い方変え 安心の社会保障こそ！！

25日昼、県社保協は消費税廃止県連絡会、憲法共同センターと共同でJR千葉駅前定例宣伝を行いました。「消費税10%への増税で家計はさらに冷え込み、コロナウィルスは経済にも深刻な影響を与えている」「いま政治の優先課題は、いのちと暮らしを守ること。憲法を変えることではない」「アベ政治に終止符を」と訴えました。



「俺の目の黒いうちは9条変えちゃならない」と年金暮らしの男性。「会社務めで厚生年金20数年、後は自営で国民年金。1人暮らしだから何とか食ってるけど年金削減許せない」「消費税はなくすべき」と。

千葉土建、千葉労連、自治労連、千商連、私教連、新婦人、共産党など8団体14人でテッシュ付チラシ200セット程配布。普段に比べると人通りは少ない中でしたが、訴えを聞き、母娘連れや2人連れの若い青年男女などが足を止めて署名に応じました。「改憲発議に反対する全国緊急署名」「社会保障制度の拡充を求める署名」「消費税5%への引き下げを求める署名」合わせて26筆が寄せられました。